

目次

□巻頭言 建設機械の国際化への道	大内田 正	1
高瀬ダムの施工と問題点	間山 宮岸 達男	3
□昭和50年度官公庁・建設業界で採用した新機種(その1)		
建設省	田中 康之	11
運輸省	奥出 律	20
日本国有鉄道	五十嵐 伊三郎	24
日本鉄道建設公団	桜沢 昇	28
J.C.M.A. 海外建設機械化視察団報告		
ハノーバーメッセ, エクスポマットを見て		35

グラビヤーハノーバーメッセ, そしてエクスポマット

□随想 鉄道工事と機械化	野口 功	38
□建設機械の現状		
7. 舗装機械		
7.1 アスファルト舗装機械	倉田 保造	40
7.2 コンクリート舗装機械	倉田 保造	44
8. 道路維持用機械および除雪機械	大城 忠士	46
9. 作業船	奥出 律	54
社団法人 日本建設機械化協会		
第27回定時総会開催		64

□統計		
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移		74
ニュース	(編集部)	23/34
行事一覧		75
編集後記	(星野・寺沢)	76

◀表紙写真説明▶

完成間近の高瀬ダム  
フィルタイプダム

発注: 東京電力株式会社  
施工: 前田建設工業株式会社

大正の末期に既存の5発電所(総出力4万kW)の開発が行われ、新高瀬川開発計画でこれら既発電所を一部廃止改造して大容量揚水方式により再開発し、電力の安定供給に役立てようとするもので、新高瀬川揚水発電所(128万kW)の上部調整池としてダムの高さ176m、堤体積1,140万m<sup>3</sup>の高瀬ダム(フィルタイプダム)を建設するものである。なお、詳細については本誌3頁を参照下さい。